

事業番号	16 01 10	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	山岳遭難救助活動経費			担当課	部局	警察本部	
				課・局・室	山岳安全対策課		
総合5か年計画	プロジェクト	2-1-4 農山村産業クラスター形成プロジェクト			E-mail	police-sangaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	1-2 強みを生かした観光の振興 1 選ばれる観光地域づくり			実施期間	S29 ~	
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	長野県内を訪れる登山者に対して、県警山岳遭難救助隊及び各警察署山岳高原パトロール隊、各地区山岳遭難防止対策協会が連携し、山岳遭難防止活動と、安全・迅速な山岳救助活動を行い、登山者の安全を確保する。		
現状（予算編成時）	<p>○ 平成26年中の山岳遭難は、272件発生しており、出勤人員は、警察官1,594人、各地区山岳遭難防止対策協会救助隊員386人が出勤している。（平成27年10月31日現在、既に254件の山岳遭難が発生している。）</p> <p>○ 滑落や転倒による遭難、60歳以上の高齢者による遭難が多く、山岳遭難は未だ多発傾向にある。</p>		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（法令等義務）	【左記の説明、根拠法令等】 警察法、警察法施行令、警察官職務執行法、長野県山岳遭難防止対策協会会則	
	県民との協働による実施： 実施中		

成果目標・事業内容	① 成果目標（H28）					
	北アルプス等の著名かつ人気の高い山々を多数抱え、全国から多くの登山者が訪れる長野県において、山岳遭難は多発傾向にあることから、遭難救助に関わる救助隊員の技術の向上や装備品の充実を図り、遭難者の安全救助と活動中の救助隊員の事故防止を図るとともに、遭難防止対策を強化する。					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28実施内容	H27 (当初)	H28 (要求)	H28 (予算案)
	1. 県警救助隊によるパトロール経費	直接	・北アルプス等、主要山岳地帯での常駐パトロール経費等	770	825	825
2. 県警救助隊・山岳高原パトロール隊用装備品の整備	直接	・県警救助隊員や山岳高原パトロール隊員が救助活動等で使用する装備品の整備	4,857	2,741	2,741	
3. 長野県山岳遭難防止対策協会救助部負担金	負担金	・長野県山岳遭難防止対策協会が行う、救助訓練に関わる経費、救助装備品の購入等の経費の負担	7,102	7,102	7,102	
		合計	12,729	10,668	10,668	

事業コスト	区分(単位:千円)					成果目標の達成状況							
	予算額	前年度繰越					項目	H26末	H27末 (見込)	H28			H29 目標
		当初予算	8,897	12,729	10,668	10,668				目標	成果	達成状況	
		補正予算	1,215	3,804									
		合計(A)	10,112	16,533	10,668	10,668							
	Aの財源	一般財源	7,970	8,150	8,130	8,130	合同山岳救助訓練の実施	7回	8回	10回			
		県債	0	0	0	0							
		国庫支出金	897	1,047	972	972							
		その他	1,245	7,336	1,566	1,566							
	決算額(B)	9,886											
概算人件費	職員数(人)	0.01	0.01	0.01	0.01								
	概算人件費(C)	83	83	83	83								
	概算事業費(B(A)+C)	9,969	16,616	10,751	10,751								

指摘事項等への対応	(指摘事項等)	(対応)
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------